

複数施設研究用
【情報公開文書】

電子カルテデータを活用した集中治療室における終末期看護ケアの実態
: 多機関共同観察研究

1. 研究の対象

2023 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日の間に、集中治療室入院中に亡くなられた患者さんとそのご家族

2. 研究目的・方法

集中治療室（ICU）で治療を受ける患者さんとそのご家族は、身体的・精神的なつらさを経験することが知られています。特に ICU で終末期を迎えた患者さんのご家族は、つらさが持続するリスクが高いと言われています。このような様々なつらさを和らげるために、ICU では終末期の看護ケアが重要視されています。

2020 年には日本救急看護学会、日本クリティカルケア看護学会から「救急・集中ケアにおける終末期看護プラクティスガイド」が発行されており、このような実践的なガイドの活用によって、看護ケアの質を維持・向上させることが期待できます。そのためには現時点でのケアの実践状況を把握し、評価することが必要不可欠です。

この研究の目的は、ICU で亡くなられた患者さんとそのご家族に対してどのような看護ケアが提供されたのかを明らかにすることです。

この研究では、電子カルテに記載されている患者さんのデータから情報を収集し、分析いたします。調査の対象期間は、対象となる患者さんの ICU 入棟時から死亡までの期間としています。期間中に実施された看護ケアの内容や、対象となる患者さんの年齢、疾患名、重症度、主診療科などについて、電子カルテの記録をレビューし、データの収集を行います。入院中の診療で蓄積された既存のデータを用いるため、患者さんやご家族に新たに情報収集をするなどのご負担をかけることはありません。

研究実施期間：研究実施許可日～2030 年 3 月 31 日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2025 年 11 月 12 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、疾患名、重症度、ICU 滞在期間、ICU での治療・看護ケアの内容、等

4. 外部への試料・情報の提供

この研究では、情報は個人が特定できないよう氏名等を削除し、セキュリティの担保されたクラウドストレージを用いて、共同研究機関へ提供します。

対照表は、各研究機関の研究代表（責任）者が保管・管理します。また、全てのデータファイルにパスワードを設定し、不正ソフトウェア対策ならびに外部からの不正アクセス防止について適切な対策をいたします。

5. 研究組織

秋田大学大学院医学系研究科 田中 雄太
東北大学大学院医学系研究科 升川 研人
名古屋大学大学院医学系研究科 川島 有沙

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、患者さんとそのご家族に関する情報が当該研究に用いられることについて、患者さんのご家族の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんやご家族に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

1. 秋田大学大学院医学系研究科 保健学専攻 看護学講座
住所：〒010-8543 秋田県秋田市本道1丁目1番1号
電話：018-884-6551（平日9時～17時）
研究代表者：田中 雄太

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科
研究科長 羽瀨 友則